

保健体育科学習指導案

指導者 荒木 良輔

- 1 日 時 令和2年11月10日(火) 5校時
- 2 学 級 2学年(男子9名 女子8名)
- 3 単元名 球技(ゴール型) サッカー
- 4 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領解説保健体育科における体育分野の内容「E 球技」のゴール型種目として分類することができる。サッカーは選手自らがどのようにプレイするか、選択をする自由があり、選手が状況に応じて判断し、持っている技能を発揮して得点を競い合うスポーツである。サッカーは個人技能だけでなく、集団技能を高めることがゲームの内容を充実させる大きな要素といえる。

第1学年及び第2学年では、攻撃を重視し、空間に仲間と連携して走り込み、マークをかわしてゴール前での攻防を展開できるようにチームで工夫しながらゲームができるようにすることをねらいとする。

(2) 生徒観 (省略)

(3) 指導観

本学年の生徒は、サッカーの経験がある生徒が少なくパスやシュートのためのさまざまなキックの方法やパスを用いたコンビネーションの方法を知らないことから、単元前半は技術練習を多く取り入れ、サッカーの基本的な知識や技術を学ばせる。また、ボール操作の習得を目的とした短時間の活動を毎時間行い、足でボールを操作する動きに慣れさせていく。特に、女子と男子の運動技能の差を少しでも埋めるため、女子がボールに触れる回数が増えるよう、練習やゲームのルールを工夫する。

単元の後半にかけて、壁パスやスルーパスなどのコンビネーションや、サイドを使う場面が多くなるよう工夫したゲームを行い、コートを広く使って攻撃することの重要性に気づかせるとともに、生徒同士の関わり合いを深めて意欲的に課題解決に取り組ませ、すべての生徒にサッカーの楽しさを感じさせたい。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、整列時の間隔を広げたり、試合中の大人数の接触を避けるためのルールや場の工夫を行ったりするなどの対策を行っていく。

5 単元の目標

- (1) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康安全に気を配ることができるようにする。
- (2) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。
 - ア ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開することができるようにする。
- (3) 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

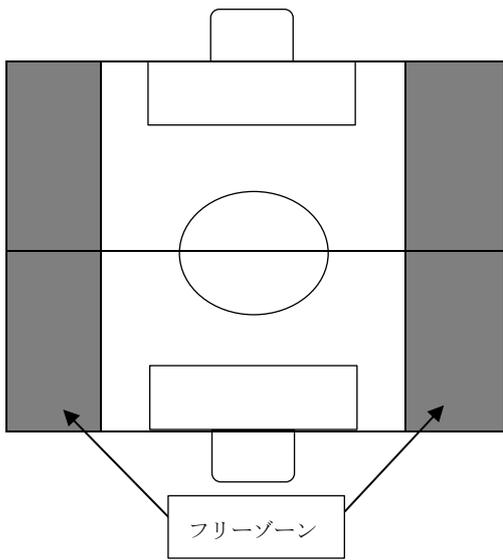
4	◎技能の習得 ・ボールキープ ◎ゲーム ・試合をしないチームの役割の説明→実践	②			・分担した役割を果たそうとしている。	行動観察 学習カード
5	◎技能の習得 ・壁パス ・スルーパス ◎簡易ゲーム ・ゾーンゲーム		①		・ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に着けるための運動の行い方のポイントを見つけている。	行動観察 学習カード
6	◎簡易ゲーム ・ゾーンゲーム			①	・マークされていない味方にパスを出すことができる。	行動観察 学習カード
7	◎簡易ゲーム ・フリーゾーン活用			②	・得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。	行動観察 学習カード
8	整理・分析 ◎映像学習 ・自分たちの試合の映像を見る	③		②	・作戦などの話合いに参加しようとしている。 ・自己やチームの課題を見つけている。	行動観察 学習カード
9 本 時	まとめ・表現 ◎簡易ゲーム ・フリーゾーン活用		①		・ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に着けるための運動の行い方のポイントを見つけている。	行動観察 学習カード
10	◎スキルテスト ・トラップ ・インサイドキック ◎ゲーム			③	・パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くことができる	行動観察 学習カード
11	◎ゲーム ◎単元のまとめ	②		②	・分担した役割を果たそうとしている。 ・試合の行い方について学習した具体例を挙げている。	行動観察 学習カード

8 本時の展開

(1) 目標 空いたスペースを有効に使うための動きのポイントを見つけことができる。

(2) 学習の主な流れ (例)

時間	学習活動 ○予想される生徒の反応	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準 (方法)
15分 (導入)	<p>1 集合整列・あいさつ・健康観察</p> <p>2 前時を振り返り課題意識を持つ</p> <p>3 本時の目標を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>サイドのスペースを有効に使うための動きのポイントを見つけことができる。</p> </div> <p>4 ウォーミングアップ・鳥かご</p> <p>①準備体操</p> <p>②ローテーションパス</p> <p>③鳥かご</p>	<p>◇健康状態を確認する。</p> <p>◇間隔をあけて整列させ、新型コロナウイルス感染を予防する。</p> <p>◇前時に映像を見て分かった課題を学習カードで確認させ、課題意識を持たせる。</p> <p>◇前時に考えた、縦だけではなく、サイドを有効に使うためのポイントを意識して活動することが重要であることを伝える。</p> <p>◇①～③は毎時間行い、個人のボール操作の技能向上を図る。</p> <p>◇②では、パスを出した後に次のパスをもらうための走りだしを意識させる。③では、正確なボール操作とパスを受けるための動きを意識させる。</p> <p>◆ボール操作が困難な生徒には、ボールに触れる回数を多くするため、③ではディフェンス役は避けるようにする。</p> <p>◆うまくできていない生徒には技能のポイントを伝える。</p>	

<p>28分 (展開)</p>	<p>5 確かめの簡易ゲーム 【フリーゾーン活用ゲーム】 試合時間（6分）→意見共有（1分） ①赤ゼッケン 対 青ゼッケン ②赤ゼッケン 対 黄ゼッケン ③黄ゼッケン 対 青ゼッケン</p> 	<p>◇前時のVTR学習での気づきや確認させてからゲームを行う。 ◇試合後にチームで集まり、気づきを共有する時間をとる。</p> <p>◇サイドを有効に使った攻撃を行いやすくするためにフリーゾーンを設け、フリーゾーン内では誰にも邪魔されずボールを操作できるフリーマンをチームで1人決める。 ◇フリーマン以外にもゾーン内に入ることのできるため、積極的にサイドを使うよう声掛けをする。 ◇フリーマンはフリーゾーン以外も動くことができ、自らフリーゾーンにボールを持ってはいることができるが、ゾーンからはドリブルで出たり、直接シュートを狙ったりすることはできない。</p> <p>◆女子の積極性を高めるため、女子の操作するボールを男子は奪うことができないようにする。 ◆動きが分からない生徒には、動きのアドバイスをする。</p>	<p>ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に着けるための運動の行い方のポイントを見つけている。 (行動観察)</p>
<p>7分 (まとめ)</p>	<p>6 振り返り <予想される生徒の反応> ○コート中央だけでなく、サイドを使った攻撃をすると攻めやすい。 ○集団から離れてパスをもらう動きが必要。</p>	<p>◇空いたスペースを有効に使うために意識したポイントや、それが実行できたかどうかを振り返らせる。 ◆記入が進まない生徒にはゲーム中の自分や仲間の動きを振り返らせ考えさせる。 ◇数名に気づきを発表させ、全体で共有する。</p>	<p>ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に着けるための運動の行い方のポイントを見つけている。 (学習カード)</p>